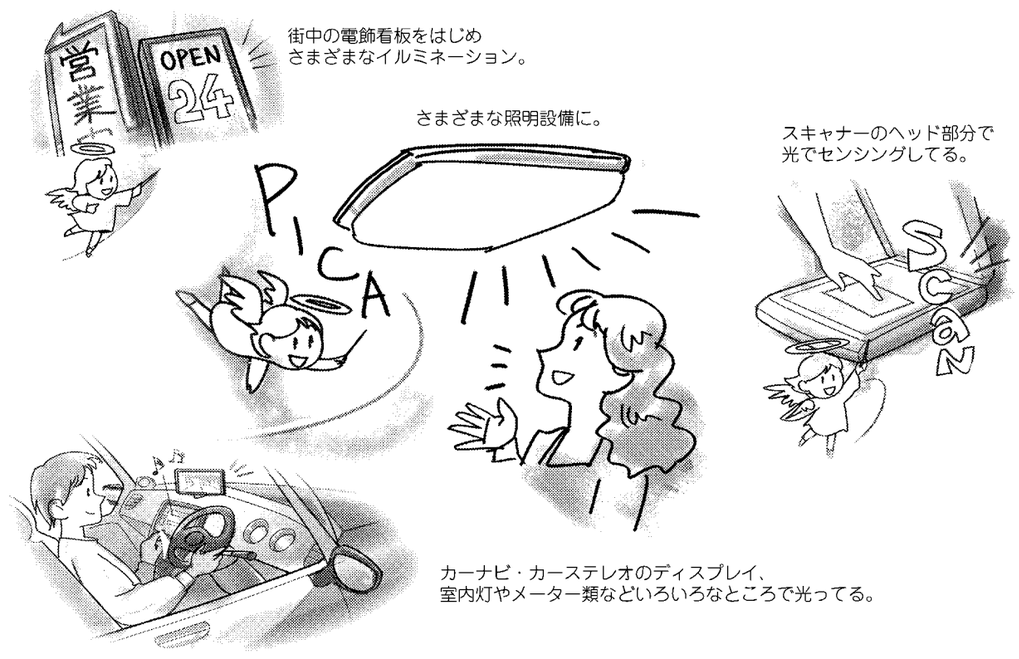
レーザテクノロジーで躍進する
株式会社 片岡製作所
本　社／〒601-8203　京都市南区久世築山町140　TEL:(075)933-1101(代) FAX:(075)931-1608
東京支店／〒104-0031　東京都中央区京橋1-14-9依田忠ビル6階　TEL:(03)5524-3411(代) FAX:(03)3563-9710
先端レーザ研究所／〒222-0033　横浜市港北区新横浜2-14-27　TEL:(045)477-3290(代) FAX:(045)477-3299
ホームページ　http://www.kataoka-ss.co.jp

KODENSHI
センサとLEDでエコライフ



”光”とともに歩み続けて40年。
皆様のおかげでコーデンシは創立40周年を迎えました。
これからも先進のセンサとLED技術で様々なソリューションに展開してまいります。

光・半導体・センサのソリューションカンパニー
コーデンシ株式会社
本社　〒611-0041　京都府宇治市槇島町十一の161
TEL.0774-23-7111(代)

■主要商品群
◎光学式エンコーダ
◎光ストレージ用フォトIC
◎ペーパーセンサ
◎受発光素子
◎照度センサ
◎フォトインタラプタ・リフレクタ
◎可視光高輝度LED
◎光リモコン受光モジュール
◎LEDプリントヘッド
◎MEMS
◎フォトカプラ
◎トランジスタ

http://www.kodenshi.co.jp

エレクトロニクス京都2012

先進の〝知と技〟で

太陽光発電関連を深耕
変換効率、系統技術強みに

日新電機
小畑 英明 社長

―太陽光発電の関連事業に力を入れています。

「2011―15年度の経営計画の中でも、重要なテーマの一つだ。主力はパワーコンディショナー（直流交流変換装置、パワコン）で、100キロ―500キロワットの産業用が中心。太陽光発電全体のシステム事業も手がけている。例えば東北電力が5月に運転開始する仙台太陽光発電所で、同事業を手がけた」

―需要動向は。

「7月に始まる再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度が〝号砲〟となり、一斉に商戦が始まる。そこで在庫を積み増し、パワコンの出荷能力を高めた」

―自社の競争力は。

「高い変換効率と、電力の系統技術にも強みがある。わが社は受変電設備の開閉装置や電力用コンデンサーで高シェアを握るので、系統技術も得意。太陽光発電を安定供給するための規制が強まれば、こうした強みが有利に働く。『業界標準』の技術を築きたい」

―海外事業も迅速です。

「中国・広東省の工場でもパワコンの生産と出荷を始めた。中国政府も自然エネルギーに力を入れており、市場規模は大きい。新興国では電力のインフラ全般で、新規設備の拡大が見込める」

―新エネルギー事業を中心に伸ばすのですか。

「高度経済成長時代に納入した既存の電力設備も、更新の潜在需要は大きい。電力機器、ビーム・真空応用装置、新エネルギー・環境、設備メンテナンスの4事業でバランスよく成長を目指す」

デバイス開発新潮流！

―パワー半導体で世界をリードしています。

「3月に世界で初めて内蔵するパワー半導体素子を、すべてSiC（炭化ケイ素）で構成したフル〝S・iC〟モジュールの量産を始めた。SiCデバイスは10年以上研究を続けており、独サイクリスタルの買収でウエハー加工からパッケージまで一貫生産体制を確立した。2014年度売上高160億円が目標だ。低損失のメリットを最大限に生かせるのは大電力を使う機器。複数の自動車や自動車電装品メーカーとも開発を進めている」

―発光ダイオード（LED）は照明器具メーカーを傘下に入れて完成品の販売まで手がけます。

「11年9月には製品ブランド〝アグレッド〟に社名を変更した。高品質のLED照明製品を市場に供給することで省エネに貢献し、世の中を明るくしていきたい」

―完成品製造ノウハウはデバイスにフィードバックできますね。

「幅広くデバイスをそろえ、総合力でソリューション提案できる強みをいかしたい。外部からの光量に応じて自動的にLEDの輝度を調整するシステムや広配光の電球などローム ならではの特色で差別化する」

海外需要の開拓進める
新興国で拠点増強　非日系向け割合上げへ

ローム
澤村 諭 社長

―海外市場の攻略を目標に掲げています。

「非日系の売上高は全体の約30%だが、この割合を高めるため欧米やアジアなどの新興国で拠点を増強中。LSIは顧客サポートが必要だ。デザインセンター機能の充実と海外のニーズにもあった製品開発を進め、海外での需要を開拓したい」

TOP INTERVIEW

―得意とする薄膜技術が注目を集めています。

「電池、コンデンサーは薄膜の固まりだ。どのようにエンジニアリングするかがカギ。二次電池や燃料電池のセパレーターの加工、電極処理などでも使われている」

―発光ダイオード（LED）向けが主力です。

「主に発光層の加工などで採用されている。素子を作る有機金属気相成長法（MOCVD）装置にも乗り出す。現在主流の大型チャンバータイプでなくマルチチャンバー方式の生産機を開発中。膜質は良いがチャンバー数が増えることでコストがかさむ。LED素子はコスト低下が急激に進んでおり、製造装置も競争力を高めるため改良に取り組んでいる」

LED製造装置に参入
マルチチャンバー式で開発

サムコ
辻 理 社長

―長年、パワーデバイス向け装置の研究に取り組んできました。

「高周波特性を持つミッドギャップの非常に面白い材料と考え、SiC（炭化ケイ素）やGaN（窒化ガリウム）など化合物半導体の材料革新に努めてきた。結晶生成技術と加工技術で同産業に貢献できる。パワーデバイスはLEDとともに市場の成長性が見込め、売上の大幅増を期待する」

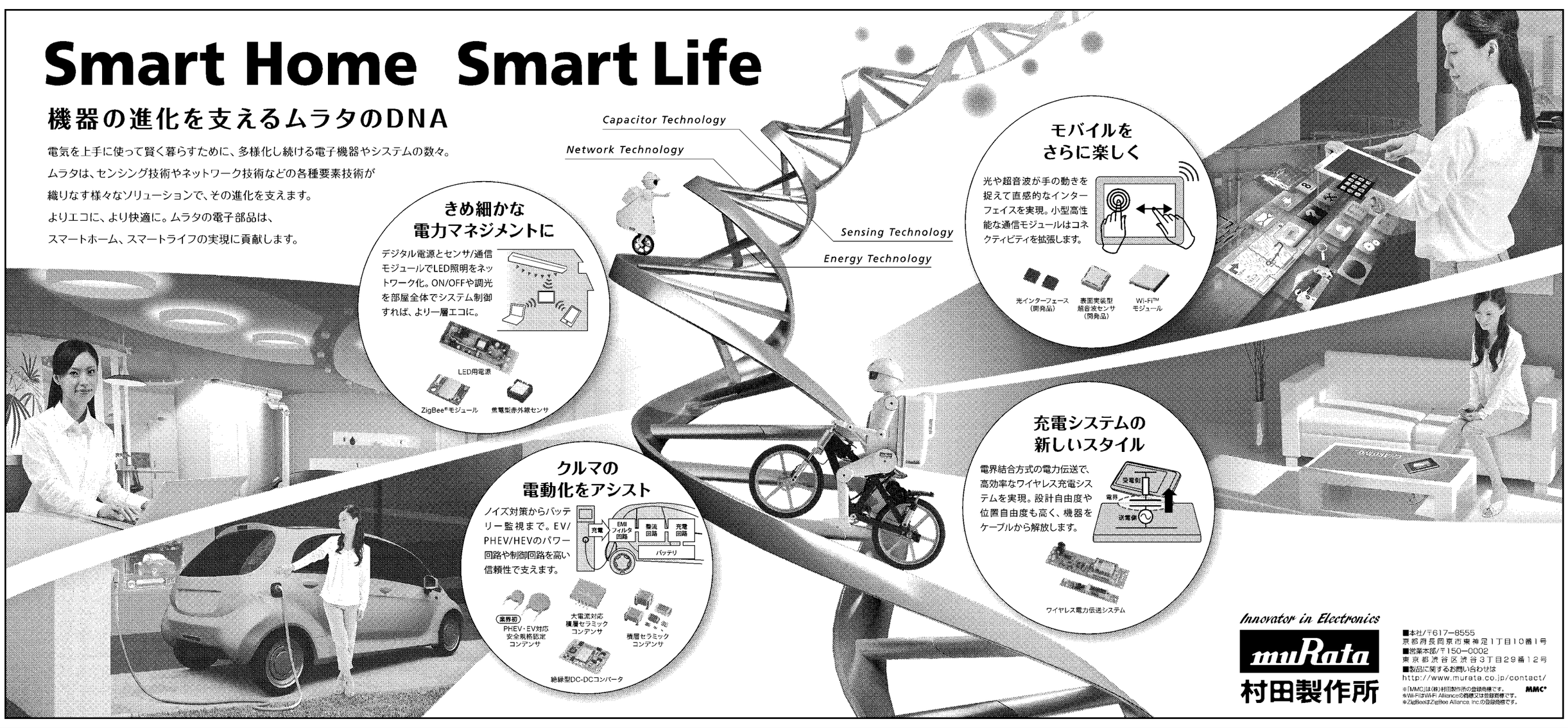
―材料研究は時間がかかります。

「基礎研究は10年じゃ短い。夢やビジョンをもって取り組むことにサムコの存在価値を見いだしている。これからは酸化物半導体も出てくる。米シリコンバレーの研究所では究極のパワーデバイス材料、薄膜ダイヤモンドの研究も進めている。これからもロングレンジで材料研究を進めたい」

Smart Home　Smart Life

機器の進化を支えるムラタのDNA

電気を上手に使って賢く暮らすために、多様化し続ける電子機器やシステムの数々。
ムラタは、センシング技術やネットワーク技術などの各種要素技術が
織りなす様々なソリューションで、その進化を支えます。
よりエコに、より快適に。ムラタの電子部品は、
スマートホーム、スマートライフの実現に貢献します。



Innovator in Electronics
muRata
村田製作所
■本社/〒617―8555
京都府長岡京市東神足1丁目10番1号
■営業本部/〒150―0002
東京都渋谷区渋谷3丁目29番12号
■製品に関するお問い合わせは
http://www.murata.co.jp/contact/
※「MMC」は(株)村田製作所の登録商標です。
※Wi-FiはWi-Fi Allianceの商標又は登録商標です。
※ZigBeeはZigBee Alliance, Inc.の登録商標です。